

記録表 発行日	2019年 4月 18日	検印
注番	K - 1532	

クローラードンプ CJ受入34項目検品表


中京重機株式会社
 ☎ 465-0057 愛知県名古屋市長区陸前町1705
 サービス部 フィールドサービスグループ
 TEL : 052-701-5191 / Fax : 052-701-5193

メーカー名	ヤンマー	型 式	C50R-3A	機 械 所 有 者	様			
製造(シリアル)番号	41974C	アワメーター	4424.7Hr	検 査 年 月 日	2019年 4月 17日 (水)			
エンジン型式	4TVV106-NTV	検 査 者 名	柴山	検 査 実 施 場 所	(本社内) 日進ヤード ()			
エンジンシリアル	V16990	特 自 検	特自検ステッカー(有)・無 / 点検日 26年 7月 / 点検者 CAT					
区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	評 価	備 考		
エ ン ジ ン	1	本体	a. 始動/停止性	かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動、ソレノイド	目視 or 操作 or 聴診	A B C D E		
			b. 回転の状態	アクセルの作動、回転具合		A B C D E		
			c. 排気の状態	排気色、排気音、吹き返し、マフラー外觀の欠陥によるガス漏れなど		A B C D E	マフラー損傷	
			d. ブローパイガス	漏れ具合、漏出量		A B C D E		
			e. エアークリーナー	ケースの亀裂、変形(エレメントの汚れ、損傷)		A B C D E	要交換	
			f. 過給機(ターボ)	異常振動、ガス漏れ、潤滑油漏れ		A B C D E		
			g. エンジン圧縮	エンジン内部コンプレッション圧計測		測定器を使用して 測定	A B C D E	Mpa
			h. 背圧	ブローパイ量の計測		測定器を使用して 計測	A B C D E	L/min
エ ン ジ ン	2	潤滑装置	油量(汚れ)、白濁、油漏れ、エレメントの汚れ(しみ)、損傷	目 視	A B C D E	ゲージ		
	3	燃料装置	燃料しみ漏れ、詰まり	目視 or 触診	A B C D E			
	4	燃料タンク	ドレンコックから水抜き実行、燃料の汚れ具合	目 視	A B C D E			
	5	燃料油種	(軽油) ・ 灯油 ・ A重油 ・ 茶灯油	目視 or (嗅診)	A B C D E			
	6	冷却装置	a. クーラント	水量、濃度、汚れ (サブタンク水量: 満・中・少・無)	目視 or 触診	A B C D E	クーラント濃度 10%	
			b. 水漏れ	ウォーターホース、ドレンバルブ、キャップ機能チェック		A B C D E		
			c. ラジエータ	外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、水漏れ		A B C D E	要清掃	
d. オイルクーラー			外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、オイル漏れ	A B C D E		要清掃		
e. ベルト/ウォーターポンプ			たわみ(摩耗、損傷)、ガタの有無と程度	A B C D E		要交換		
f. 水温計	正常(適温)表示	良 / 不良						
g. その他	ファンカバーやダクトの亀裂有無・損傷及び変形など	A B C D E						
7	電気装置	オルター機能、バッテリー液量、ターミナル緩み、腐食	目視 or 触診 or (電圧計)	A B C D E	電圧 約 27.8 V(ボルト)			
			搭載バッテリー型式 ⇒ [90D23R]	目 視	A B C D E			
走 行 装 置	8	走行コントロール	前後発進停止、左右操舵	操 作	A B C D E			
	9	起動輪・遊動輪	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ、油漏れ	目視 or 触診 or 聴診 or 探傷剤	A B C D E			
	10	上部ローラー・下部ローラー	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ	目視 or 触診	A B C D E			
	11	履帯	ゴム	欠け、劣化、摩耗、亀裂傷、スチールコード切断、損傷、心金脱落、たわみ	(目視) or 触診	A B C D E		
			鉄/PAD	(シュー)クラック、変形、摩耗、シューボルト・ナット取付緩み、リンク・ブッシュクラック/欠け、ビッチ伸び、たわみ、固着				
	12	履帯調整装置	作動、調整ボルト損傷、変形、腐食、摩耗、シリンダー油漏れ	(目視) or 操作 or 探傷剤	A B C D E			
13	走行減速機	油量、異音、異常発熱、ケースクラック、損傷、油漏れ※減速機の油量チェックは必須の事	(目視) or 聴診 or 触診	A B C D E				
作 業 装 置	14	ブーム、アーム、バケット、リンク	クラック、変形、摩耗、ガタつき、取付、ピンシール損傷	目視 or 触診 or 探傷剤	A B C D E			
	15	ツース・サイドカッター	脱落、摩耗など	目視 or 触診	A B C D E			
	16	ブレード	クラック、変形、摩耗、ガタつき、取付、エッジ摩耗程度		A B C D E			
	17	バケットフック	クラック、変形、摩耗、ガタつき、取付、外止機能、損傷		A B C D E			
油 圧 装 置	18	作動油タンク	残油量(適量・中・少・無)、ゲージの汚れ		目 視	A B C D E	要補充	
	19	配管類(高・低圧油圧ホース・パイプ)	クラック/亀裂、劣化、損傷、ひび割れ、油漏れ、ブрак/ボルト	A B C D E				
	20	コントロールバルブ	油漏れ、異音	目視 or 聴診 or 触診		A B C D E		
	21	油圧メインポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、吐出異常	目視 or 聴診 or 触診		A B C D E		
	22	油圧シリンダー	ブームシリンダ部	自然沈下、油漏れ(しみ)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり		目視 or 操作	A B C D E	
			アームシリンダ部	自然沈下、油漏れ(しみ)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり		目視 or 操作	A B C D E	
			バケットシリンダ部	自然沈下、油漏れ(しみ)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり		目視 or 操作	A B C D E	
ブレードシリンダ部			自然沈下、油漏れ(しみ)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E			
オフセットシリンダ部			自然沈下、油漏れ(しみ)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E			
(ベッセル)シリンダ部	自然沈下、油漏れ(しみ)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E					
操 作	23	操作(レバー)パターン	日立(横旋回)・コマ(縦旋回)・三菱(右レバ-横旋回)・ヤンマー	操 作	A B C D E			

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考
安全装置・車体関係等	24	座席(調整機構、座面、背もたれ)	座席調整、ロック作動、取付ガタ、損傷、穴あき	目視 or 操作	A B C D E	シートベルト無し
	25	昇降設備	亀裂、損傷、変形、取付ガタ	目視	A B C D E	
	26	灯火装置、警報器、方向指示器、ワイパー	作動状態、取付ガタ、レンズ破損、浸水	目視 or 操作	A B C D E	
	27	計器類	作動状態、取付ガタ、レンズ破損	目視 or 操作	A B C D E	
	28	セキュリティ [有 ・ (無)]	イモビライザー、電子Key、隠しスイッチ、パスワードなど	操作	有 (無)	
	29	反射鏡、後写鏡	汚れ、損傷、破損	目視	A B C D E	
	30	給油脂	給油脂状態、自動給脂装置作動	目視 or 操作	A B C D E	
	31	キャビン(ガラス)	亀裂、変形、腐食、雨漏り、ドア開閉、ロック、キー作動、ガラスのガタつき、破損	目視 or 操作	A B C D E	
	32	レバー、ペダル	効き、操作、変形、損傷、はずれ	目視 or 操作	A B C D E	
	33	旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付ガタ	目視 or 聴診 or 触診 or 操作	A B C D E	
34	旋回ベアリング	引っ掛かり、異音、ギア異音、シール損傷、油漏れ	目視 or 操作 or 聴診	A B C D E		

実機機械状態から具体的な検査結果報告(特記事項がなければ未記入で可)を記載の事

No. 1	・エアークリーナー外カバー曲がり有り
No. 2	・要交換
No. 3	・燃料エレメント漏れ
No. 4	
No. 5	・ラジエーター及びオイルクーラーコア汚れ有り 要清掃
No. 6	
No. 7	
No. 8	
No. 9	
No.10	・下部ローラー若干摩耗有り
No.11	
No.12	・ポンプ付近オイルにじみ
No.13	
No.14	・ベッセルヒンジ曲がり有り
No.15	・ベッセル底板波うち有り
No.16	・クラック2ヶ所
No.17	
No.18	・作動油量不足 要補充
No.19	
No.20	
No.21	
No.22	
No.23	
No.24	・シートベルト無し
No.25	
No.26	
No.27	
No.28	
No.29	
No.30	
No.31	・上部体(キャビン)締結ボルト1本折れ込み
No.32	
No.33	
No.34	

- 備考
1. 検査方法欄に実施した内容を○で囲み、5段階評価の中で該当する程度・状態を○で囲む。
 2. 検査結果に異常があった場合には、右頁の該当番号欄へ具体的な不具合結果を記入の事。

概要評価基準

- A: 新品に近く非常に良好な状態の場合
- B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合
- C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合
- D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合
- E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合

個別評価基準(残存率による評価の場合は%を参照)

- A: 新品に近く非常に良好な状態の場合 / 100~90%
- B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合 / 90~70%
- C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合 / 70~40%
- D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合 / 40~20%
- E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合 / 20~0%